



釧路高専 チーム946

提案概要

釧路湿原ではソーラーパネルが急増し、景観や生態系への影響が懸念される。そこで、パネル下に給水所を設置し、動物たちの避暑地として活用することを提案。近年、温暖化で動物の夏の暮らしは厳しさを増している。この仕組みによりパネルは動物観察の場として新たな価値を持ち、小さなサファリパークのような役割を果たす可能性があると考えた。

イメージ図



解決を目指すSDGs



未来年表

ソーラーパネルの下に給水所を設ける



動物たちが水分補給に訪れる



ソーラーパネルの下で動物が見られるように



ソーラーパネル自体が動物観察の拠点として小さなサファリパークとして定着



ソーラーパネルのネガティブなイメージを払拭！！